

日本・ASEANユースリーダーズサミット 2011



参加者
募集

参加費無料

9/20
締切

2011.10.29(土)~11.1(火)3泊4日

国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)

問い合わせ：(財) 青少年国際交流推進センター

Tel:03-3249-0767 Fax:03-3639-2436

<http://www.centerye.org/>

CENTERYE

検索

主催：内閣府、(財) 青少年国際交流推進センター

協力：駐日ブルネイ・ダルサラーム国大使館 / 駐日カンボジア王国大使館 / 駐日インドネシア共和国大使館 / 駐日ラオス人民民主共和国大使館 / 駐日マレーシア大使館 / 駐日ミャンマー連邦共和国大使館 / 駐日フィリピン共和国大使館 / 駐日シンガポール共和国大使館 / 駐日タイ王国大使館 / 駐日ベトナム社会主義共和国大使館 / 東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター (国際機関 日本アセアンセンター) <予定>

日本・ASEANユースリーダーズサミット Japan-ASEAN Youth Leaders Summit



「日本・ASEANユースリーダーズサミット」に参加するローカルユース100名を募集します。

「日本・ASEANユースリーダーズサミット」は、日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）各国及びASEANとの連携を強化するために、より多くの青年が日本とASEAN各国を結ぶネットワークに参加することを目的として、駐日ASEAN各国大使館及び日本アセアンセンター（予定）と連携して行われる、ディスカッション及び文化交流を中心とした合宿型交流プログラムです。

「東南アジア青年の船」事業*の参加青年とディスカッションや文化交流を通じて、相互理解を深め、日本とASEAN各国の未来を担う青年リーダーの育成を目指します。ASEAN諸国に興味のある方、各国代表とのディスカッションや文化交流を通じてASEAN諸国や日本についてより深く知りたい方など、ふるってご応募ください。

*内閣府青年国際交流事業「東南アジア青年の船」事業については、
(<http://www.cao.go.jp/koryu/index.html>) を参照ください。



インドネシアの展示にて伝統楽器について話す参加青年とローカルユース

ローカルユースとは？

「東南アジア青年の船」事業の日本国内活動の一環として実施される「日本・ASEANユースリーダーズサミット」（10月30日～11月1日）に参加する、日本で一般募集される青年約100名を示す名称。ASEAN各国の青年らと10月30日から2泊3日行動を共にし、ディスカッションや文化交流を通じて相互理解を深めます。

サミット概要

日程

| 日付 | 活動内容 |
|-----------|---|
| 10/29 (土) | ローカルユース入所（午前10時45分までの集合を予定） ローカルユース事前研修（1） |
| 10/30 (日) | ローカルユース事前研修（2） 「東南アジア青年の船」事業参加青年入所 オリエンテーション ディスカッション・グループ活動 |
| 10/31 (月) | 午前：「日本・ASEAN文化交流プログラム」準備 午後：「日本・ASEANユースリーダーズサミット」オープニング・セレモニー/「日本・ASEAN文化交流プログラム」（各国紹介パフォーマンス・各国紹介展示） 夕方：交流会 |
| 11/ 1 (火) | 午前：基調講演 講師：池上清子氏(国連人口基金東京事務所長) 午後：ディスカッション・グループ活動、まとめと発表 夕方：フェアウェル・パーティ（修了式含む、21時まで解散予定） ※遠方からの参加者には宿泊あり |



ディスカッションの成果を発表するローカルユース



各国紹介パフォーマンス（タイ）

ディスカッション

●共通テーマ

青年の社会参加ー青年の力を今こそ社会へ！ー

Youth Participation in Social Activities-Now is the time to bring the power of youth to the society!

ASEAN10か国及び日本の青年とともにグループに分かれ、共通テーマに沿ってディスカッションを行います。青年が社会を創る当事者であることを自覚し、青年の役割と可能性について討議することによって、社会活動に積極的に参加する意義を理解し、社会の一員として自らの力をどのように発揮できるかを自らに問い直し、取り組むべき方向性を認識することを目指します。



ディスカッションの様子

文化交流

ASEAN各国と日本の青年たちが、自国の文化紹介を行います。

第1部では、各国に伝わる歌や踊りなど、伝統芸能の披露、第2部では、国ごとに体験型展示ブースが設けられ、ASEAN各国に対する理解を深めることができます。

募集要項

| | |
|---------------------|---|
| 期 間 | 平成23年10月29日（土）～11月1日（火） |
| 会 場 | 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区） |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> ○全日程に参加可能であること ○18歳から概ね30歳であること（高校生不可） ○日本国籍を有する者、もしくは永住、特別永住、定住の在留資格を有する者 ○東南アジア諸国の青年との交流に関心があること ○ディスカッションに参加できる英語力を有すること（目安：英検2級以上） <p>※「東南アジア青年の船」事業既参加青年の方は実行委員として積極的にご協力願います。問い合わせ先までご連絡ください。</p> |
| 募集人数 | 100名 |
| 参加費 | <p>無料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期間中の食費・宿泊費は主催者負担 ○開催会場までの往復交通費は自己負担 ○ボランティア保険に加入します。（保険料は主催者負担） |
| 応募方法 | 以下3点の提出書類を、Eメール・ファックス・郵送のいずれかで提出してください。 3点すべての書類が揃わない場合は選考対象外となります。 |
| 提出書類 | <p>(1)申込書 http://www.centerye.org/event/2011/yis/ 上記ウェブサイトからダウンロードできます。 *申込書の郵送をご希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>(2)英文文：志望動機（600～800単語）（様式自由 お名前を必ず明記してください）</p> <p>(3)和作文：ディスカッションの共通テーマ「青年の社会参加ー青年の力を今こそ社会へ！」についての自分の意見（1000字程度）（様式自由 お名前を必ず明記してください）</p> |
| 締め切り | 平成23年9月20日（火） |
| 提出先 及び 問い合わせ先 | <p>(財)青少年国際交流推進センター 担当: 貝沼 浮田 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-35-14 東京海苔会館6階 TEL: 03-3249-0767 FAX: 03-3639-2436 E-mail: yis@iyeo.or.jp URL: http://www.centerye.org/</p> |
| 選考結果 | 選考の結果は、9月28日（水）までに、EメールまたはFAXにて通知します。 |

「東南アジア青年の船」事業とは？

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年のインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール及びタイ各国と日本との首脳会談による共同声明に基づき、ASEAN諸国と我が国による青年国際交流の共同事業として発足したものです。昭和60年度からはブルネイ・ダルサラーム、平成8年度からはベトナム、平成10年度からはラオス、ミャンマー、平成12年度からはカンボジアを迎え、これらASEAN諸国の協力の下、日本政府が実施しています。

この事業は、ASEAN各国の青年と日本の青年が、船内において生活を共にし、ディスカッションなど各種の活動を行うとともに、各国を訪問して青年との交流やホームステイを行うことにより、東南アジア諸国及び日本の青年相互の友好と理解を促進し、併せて青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神の醸成と国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成するとともに、青少年健全育成活動に参加青年が寄与することを目的として実施されています。



平成23年度「東南アジア青年の船」事業（第38回）日程

| 月日 | 事項 |
|--------------|---|
| 10月26日-11月3日 | 日本国内活動 (10月30日-11月1日 日本・ASEANユースリーダーズサミット) |
| 11月10日-13日 | フィリピン訪問国活動 |
| 11月16日-19日 | ブルネイ訪問国活動 |
| 11月22日-25日 | インドネシア訪問国活動 |
| 11月28日-12月1日 | マレーシア訪問国活動 11月29日-30日 代表団によるカンボジア訪問 |
| 12月4日-7日 | ベトナム訪問国活動 |
| 12月15日 | 帰国報告会、解散式 |

平成23年度日本・ASEANユースリーダーズサミット
ローカルユース申込書

| | | | | |
|---|--|----|-------------|--|
| (フリガナ) | | | 男 ・ 女 | (写真貼り付け) 上半身正面脱帽、 縦4.5cm×横3.5cm、 平成23年4月1日以降 撮影のものであること。 |
| 氏 名 | | | | |
| (ローマ字) | | | | |
| 生年月日 | 19 | 年 | | |
| 年 齢 | 歳 (平成23年4月1日現在) | | | |
| (ふりがな) | | | | |
| 現住所 | (〒 -) 都・道 府・県 電 話 () E-mail : _____ 携帯電話 () Fax () | | | |
| 職 業 | <input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他() ※高校生不可 | | | |
| 勤務先又は学校名 | | | | |
| 勤務先の所属部署名 及び役職 | | 専攻 | | |
| 英語に関する 資格及び経験 | | | | |
| 英語以外の語学力、 外国青年との交流に 役立つと考えられる 技能 | | | | |

* 写真の添付がない場合は選考対象外となります

| | 団体等の名称 | 活動期間 | 団体等の概要、自己の活動内容、今後の取組等 |
|--|---|---------------|---|
| 団体活動・指導歴、国際交流事業の経験（年度・国名・内容等） ※「東南アジア青年の船」事業の既参加青年は、日本参加青年としてではなく、 <u>スタッフとしてご参加ください。</u> | （記入例） ○○国際交流協会 | H11.10～ 現在 | ○○国との交流を中心に草の根の国際交流を推進しており、私は外国青年のホームステイを引き受けるとともにこの体験を機関紙として出版している。今後も地道に活動を続けていきたい。 |
| | | | |
| この事業を知ったきっかけに○をしてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・親族、友人（既参加青年を除く）からの紹介 ・勤務先・所属団体からの紹介 ・内閣府ホームページを見て ・地方公共団体の広報を見て ・大学の事業説明会に参加 ・その他（ ・既参加青年から直接の紹介 ・ポスター、リーフレットを見て ・新聞広報を見て 該当に○→（パソコン、携帯電話） 該当に○→（広報誌（紙）・テレビ・ラジオ・HP・他） ） ） | | |
| 禁忌・アレルギーのある飲食物・薬等 | あり（具体的に） / なし | | |
| 健康状態 | 良 / その他（） ※慢性的な疾患がある場合、定期的に服用あるいは常用している薬がある場合、その他の理由により現在通院している場合はその旨記入すること。 | | |

※参加申込書に記載された情報は、参加青年の選考のために利用されるほか、事業参加者については、必要な範囲で、1) 事業の実施のため、及び2) 事業参加後の青年のネットワークの形成・維持のため利用されます。また、それらの情報は、1) のため、参加事業の他の青年及び各国政府等の事業関係者に、2) のため、事後活動組織に、それぞれ提供されることがあります。

なお、収集した情報は、利用目的の範囲内で適切に取り扱われます。

応募締切
9月20日(火)必着

日本青年(ローカル・ユース) 申込書提出先

E-mail: yls@iyeo.or.jp

Fax: 03-3639-2436

郵送: 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-35-14 東京海苔会館6階

この申込書はこちらから
ダウンロードできます

